

11月



美園小だより

学校教育目標 笑顔かがやく きれいな学校

URL <http://misono-e.saitama-city.ed.jp/>

平成 27年 10月30日
さいたま市立美園小学校
第49号 児童数 1,043名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

基礎・基本を身に付けるための“基礎・基本”

校長 榎山 正春

10月20・21日の両日、6年生の修学旅行の引率で日光に行ってきました。

紅葉はまさに見頃、そしてその美しさを一層引き立たせる抜けるような青い空。これだけでも十分恵まれているのに、今回は交通渋滞もなければどこの見学場所で他校とかち合って待たされることもほとんどなし。一般観光客も他校の修学旅行生もたくさん来ていたはずなのに、引率歴10数回の大ベテランの先生が「こんなことは初めてだ」と驚くほどでした。もちろん病院のお世話になるようなアクシデントにも見舞われず、華厳の滝から奥日光・湯本の源泉に至る“自然”と日光東照宮を中心にした“歴史・文化”、そしてホテルで過ごした友達との時間・・・、6年生一人ひとりにとって、様々なことを心に刻み込めた二日間になったと思います。



旅行の初日、戦場ヶ原のハイキングコースを2時間ほど歩きました。ラムサール条約登録の貴重な湿原であること、男体山をきれいに眺められること、そして何よりも木道がきちんと整備されていて安全度が高いことなどから、修学旅行では定番のプログラムです。

その木道の途中で、ある児童に「木道に使われている材木は、やがて朽ちてしまうよね。修理はどうやってするんだろう?」「交換用の材木は、誰がどこからどうやって運んでくるのかな?」「木道に数字が書いてあるけれど、あれは何?」と質問してみました。意表を突かれた彼は、結局答えにはたどり着けずに「降参です。答えを教えてください...。」となってしまったのですが、興味をいたくそそられたのでしょうか、一生懸命に知恵をしぼり、何とか答えを出そうとしてくれました。その姿を見て、「この子はきっと伸びるぞ」と思い、ちょっと嬉しくなりました。



戦場ヶ原の木道を歩く



近年、教育の世界では「基礎・基本の確実な定着」という言葉がよく使われます。基礎・基本の内容がどんなものであれ、誰かに強制されるよりも自らの意志で取り組む方が身に付くのは間違いありません。その意味で、“興味をもつ(もたせる)こと”“好奇心をもつ(もたせる)こと”は、「基礎・基本を身に付ける(身に付けさせる)ための基礎・基本」と位置づけられるのではないかと思います。



木道の例のようについ見逃してしまいそうな小さなことでも、子どもたちに「なぜ?」「どうして?」と疑問を持たせ、「あれかな、これかな」と広く深く考えさせるきっかけにすることができます。そしてうまく解決できたときには「分かったぞ!」「できたぞ!」と自信もつけさせることにもなるでしょうし、「ふーん、そうなのか」「へえ、すごいなあ」という感動体験を味わわせ、次のステップに一步踏み出そうとする意欲を持たせることにもなるでしょう。肝心なのは、「大人がどう働きかけるか」です。

「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」・・・、何をするにもよいこの季節、子どもたちに、バーチャルではない実体験の機会を用意してあげてください。そしてその中で、ちょっとだけ好奇心をくすぐってみてください。その積み重ねが子どもたちの大きな成長につながります。